

表1. がん登録の対象となるICD-10コード(対象コード)

病名から登録対象を検索するときに本表(表1)および表2を用いて、対象候補者リストを作成することができる。

全国がん登録では、本表(表1)でCasefindingを行うことができる。

院内がん登録では、希少がんを含めたより広い範囲を正確にCasefindingする必要から、

本表だけでなく、表2(候補リスト)についても検索範囲に含めることが望まれる。

がん登録側で部位や組織が限定されているもの(例えば、中枢神経系腫瘍)があるので、

このコードが示す病態がすべて登録の対象になるわけではない点に留意すること。

本表(表1)に基づいて、全国がん登録の対象を抽出することができるが、

標準病名集がすべてのICD-10コードを含んでいない点等にも留意して、利用すること。

ICD-10コード	部位	名称	標準病名集に存在する病名
C00._ ~ C97	—	悪性新生物	←
D00._ ~ D09._	—	上皮内癌	←
D18.0	頭蓋内	頭蓋内血管腫	頭蓋内血管腫
D18.1	—	リンパ管腫	リンパ管腫
D32._	→	髄膜の良性腫瘍	←
D33._	→	脳および中枢神経系の良性腫瘍	←
D35.2 ~ D35.4	→	下垂体、頭蓋咽頭管、松果体の良性腫瘍	←
D42._ ~ D43._	→	脳および中枢神経系の性状不詳腫瘍	←
D44.3 ~ D44.5	→	下垂体、頭蓋咽頭管、松果体の性状不詳腫瘍	←
D45	—	真性多血症	←
D46._	—	MDS	←
D47.1	—	慢性骨髄増殖性疾患	骨髄増殖性疾患
D47.3	—	本態性血小板血症	本態性血小板血症
D47.4	—	骨髄線維症	←
D47.5	—	慢性好酸球性白血病	←
D47.7	—	リンパ組織・造血器の性状不詳腫瘍	←
D47.9	—	リンパ組織・造血器の性状不詳腫瘍	なし

コード末尾の「_」は、0~9のいずれかの数字が入ることを示す。

→ は、右の名称にある部位が対象であることを示す。

← は、左のコード・名称について、細分された名称が標準病名集に収録されていることを示す。

表2. がん登録の対象となる可能性のある候補に対応したICD-10コード(候補コード)

病名から登録対象を検索するとき本表(表2)および表1を用いて、対象候補者リストを作成することができる。

がん登録側で部位や組織が限定されているものがあるので、

このコードが示す病態がすべて登録の対象になるわけではない点に留意すること。

表1および本表(表2)に基づいて、院内がん登録の対象を標準的方法で抽出することができるが、標準病名集がすべてのICD-10コードを含んでいない点等にも留意して、利用すること。

ICD-10コード	部位	名称	標準病名集に存在する病名
B20	—	HIV病	HIVカリニ肺炎
B97.3	—	他に分類される疾患の原因のレトロウイルス	なし
B97.7	—	他に分類される疾患の原因の乳頭腫ウイルス	なし
D10._	~ D31._	—	良性腫瘍
D37._	~ D41._	—	性状不詳腫瘍
D44.0	~ D44.2	—	性状不詳腫瘍
D44.6	~ D44.9	—	性状不詳腫瘍
D47.0	—	性状不詳腫瘍	肥満細胞腫
D47.2	—	性状不詳腫瘍	単クローン性異常免疫グロブリン血症
D48._	—	性状不詳腫瘍	←
D63.0	—	腫瘍が原因の貧血	なし
D69.4	~ D69.6	—	血小板減少症
D70	—	無顆粒球症	顆粒球減少症
D72.1	—	好酸球増加症	好酸球増加症
D76._	—	リンパ細網組織および細網組織球系の疾患	ランゲルハンス細胞組織球症
D89.0	—	多クローン性高ガンマグロブリン血症	ワルデンストレーム高ガンマグロブリン血症
D89.1	—	クリオグロブリン血症	クリオグロブリン血症
E34.0	—	カルチノイド症候群	カルチノイド症候群
E83.5	—	カルシウム代謝障害	カルシウム代謝障害
E88.0	—	血漿タンパク代謝障害	←
E88.3	—	その他の明示された代謝障害	なし
G73.1	—	イートン・ランバート症候群	イートン・ランバート症候群
H35.0	—	背景網膜症および網膜血管変化	白血病性網膜症
J70._	—	その他の外的因子による呼吸器病態	放射線性肺炎
K62.0	—	肛門ポリープ	肛門ポリープ
K62.1	—	直腸ポリープ	直腸ポリープ
K63.5	—	大腸のポリープ	大腸ポリープ
K63.8	—	腸のその他の明示された疾患	小腸ポリープ
L57.0	—	日光角化症	光線角化症
L58.0	—	放射線皮膚炎	←
N87._	→	子宮頸部異形成	子宮頸部上皮内腫瘍
N89.0	~ N89.3	→	膺異形成
N90.0	~ N90.3	→	外陰異形成
O01._	—	胞状奇胎	←
P00.2	—	母胎の感染症および寄生虫症により影響を受けた胎児及び新生児	成人T細胞白血病ウイルス感染母体出生児
P35.8	—	その他の先天性ウイルス疾患	新生児成人T細胞白血病ウイルス感染症
Q82.2	—	色素性じんま疹	肥満細胞症
Q85.0	—	神経線維腫症(非悪性)	神経線維腫症
Q85.8	—	その他の母斑症	←
Q85.9	—	母斑症、詳細不明	基底細胞母斑症候群
Q90._	—	ダウン(Down)症候群	←
R18	—	悪性腹水	血性腹水
R53	—	倦怠及び疲労	全身倦怠感
R59._	—	リンパ節腫大	リンパ節腫大
R85._	—	消化器および腹腔からの検体の異常所見	腹水細胞診陽性
R87	—	女性生殖器からの検体の異常所見	膺スメア細胞診陽性
R90.0	—	頭蓋内占拠性病変	頭蓋内占拠性病変
R91	—	肺の画像診断の異常所見	胸部異常陰影
R92	—	乳房の画像診断の異常所見	乳房微小石灰化
T38.8	—	他のホルモン類による中毒	なし
T38.9	—	他のホルモン拮抗薬による中毒	なし
T45.1	—	抗腫瘍薬および免疫抑制薬による中毒	シタラビン中毒
T45.8	—	主として全身および血液に作用する他の薬物による中毒	なし
T45.9	—	主として全身および血液に作用する薬物(詳細不明)による中毒	なし
T66	—	放射線の作用、詳細不明	遅発性放射線壊死
T80.2	—	輸液・輸血・治療用注射に続発する感染症	なし